

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年 7月 8日 (水)

2 確認箇所

構内全般

3 確認項目

降雨の影響

4 確認結果の概要

大熊町に大雨・強風・雷注意報が発表され（10時57分に大雨警報発表）、強い雨が降っていたことから、構内を巡視しながら降雨による影響を確認した。なお、強い雨が降ったのは午前中であり、午後からは小降りになり、14時13分に大雨警報が解除になっている。

- ・構内道路は数か所で冠水していたが、主要な道路は通行できていた。
(写真1)

- ・大熊通り（図1）の側溝は溢水し、下端の窪地は歩行が困難なほど冠水していたが、1～4号機建屋側への流出は見られなかった。（写真2）

- ・以前台風による大雨で雨水が浸入した既設多核種除去設備建屋（図1）の入口には土のうが設置されており、建屋への雨水浸入を防止していた。
(写真3)

- ・確認した範囲ではT.P.2.5m盤の地下水ドレンポンドや地下水観測井からの溢水は見られなかったが（写真4）、東京電力によると、サブドレンピットNo.19において、10時57分頃に溢水が確認され、運転を停止していた汲み上げポンプを起動し、11時04分頃に溢水が停止したことを確認したとのことであった。

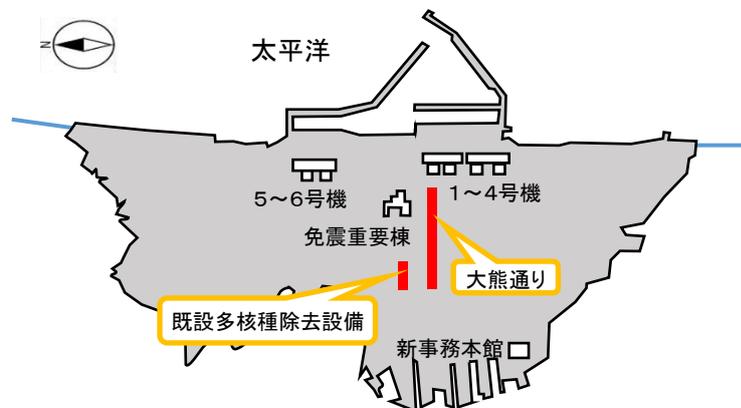


図1 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
道路の冠水状況の例
(プロセス主建屋南西側から撮影)



(写真2-1)
大熊通りの側溝溢水状況の例



(写真2-2)
大熊通り下端の冠水状況
(大熊通り西側から撮影)



(写真3)
既設多核種除去設備建屋入口の状況



(写真4)
地下水観測井Aの状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。